

うつのみや



社協 だより

平成25年4月20日発行

編集発行 **148号**

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856

<http://www.utsunomiya-shakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

安心・安全情報キット配付事業



ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障がいのある方などに、「安心・安全情報キット」を配付する事業を実施しています。

安心・安全情報キットとは、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などを記入した情報シートを専用のプラスチック容器に入れて、冷蔵庫等に保管していただくことで、緊急時に救急隊員等がその情報を活用して適切な処置に役立てるものです。



配付先や取り扱いについて確認し合い、配付後の見守り活動につなげます。

この事業は、キットの配付を通して、地域住民どうしの見守り・声かけや、関係機関の連携・協働が促進されるよう、地区社会福祉協議会が主体となり実施しています。

平成25年2月現在、22地区社協で7,068件配付しており、平成28年度までの5年間で、39地区すべてにおいて配付をする予定です。

“うつのみや社協だより”は、「回覧」です。よろしくお願ひ申し上げます。

古紙配合率100%再生紙を使用しています

第3次地域福祉活動計画を策定しました

この計画は、宇都宮市が策定する「第3次やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進計画」と一体となり、連携しながら効果的に地域福祉を推進していくものです。

基本目標1 福祉のこころをはぐくむ人づくり

基本施策1 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ① 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進
- ② やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実
- ③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

基本施策2 福祉に関する人材の育成と共育の推進

- ① ボランティア養成の充実
- ② 出前福祉共育講座の充実

基本目標2 安心して暮らせる仕組みづくり

基本施策1 社会参画の促進

- ① 老人クラブ支援の充実
- ② 老人福祉センター機能の充実
- ③ 障がい福祉施設機能の充実
- ④ 地区福祉まつり支援の充実
- ⑤ 男性高齢者調理講習会事業の充実

基本施策2 情報提供体制の充実

- ① 総合相談センター事業の充実
- ② 地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

基本施策3 さまざまなニーズに応じたサービスの提供

- ① 権利擁護センター（あすてらす）事業の充実
- ② 成年後見事業の推進
- ③ 介護保険事業の充実
- ④ 地域包括支援センター事業の充実
- ⑤ 障がい者生活支援センター事業の充実
- ⑥ 福祉車両貸出サービス事業の推進
- ⑦ 車いす等福祉機器・機材の貸出事業の推進

基本目標3 地域で支えあうまちづくり

基本施策1 共に支えあう地域づくり

- ① コミュニティワークの推進
- ② 地区社会福祉協議会支援の充実
- ③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進
- ④ 安心・安全情報キット配付事業の推進
- ⑤ 関係機関・団体の連携・協働の推進
- ⑥ 福祉団体・福祉施設の連携・協働の推進
- ⑦ 市民活動機関の連携・協働の推進
- ⑧ ボランティアセンター機能の充実
- ⑨ 災害ボランティアセンター機能の充実
- ⑩ ファミリーケアサービス事業の充実
- ⑪ ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実

基本施策2 市民の主体的な地域活動への支援

- ① 小地域福祉活動計画策定の検討
- ② 福祉協力員制度の推進
- ③ 社会福祉協議会会員制度の充実
- ④ ざんなん基金事業の充実
- ⑤ 善意銀行事業の充実
- ⑥ 敬老会事業の充実

計画の期間

平成25年度～平成29年度(5年間)



「福祉協力員研修会」を開催しました

福祉協力員活動の推進と充実を図ることを目的に、ブロックごとに福祉協力員研修会を開催しました。

今回は「地域包括支援センターの役割と福祉協力員との連携」をテーマとした講演と、地域包括支援センター職員の方々による、事例と取り組みなどについての発表を行いました。

福祉協力員と地域包括支援センターの連携の必要性を再認識することができ、今後の活動につながる大変有意義な研修となりました。

福祉協力員とは、同じ地域で暮らす住民として見守りや声かけを行うなど「住民相互の支えあい運動」を推進している地域のボランティアです。地区で行う「ふれあい会食会」や「地区福祉まつり」「ふれあい・いきいきサロン」などでも活躍しています。

中央ブロック
(中央・楽瀬・西・西原・東・昭和・錦／7地区)

事例発表者：土岡久美子氏(地域包括支援センター御本丸)
参加者：75名

北部・上河内・河内ブロック(合同)
(戸祭・細谷・豊郷・国本・富屋・篠井・御幸・御幸ヶ原・上河内・河内／10地区)

事例発表者：池田正典氏(鬼怒地域包括支援センター)
参加者：144名

東部ブロック
(城東・今泉・峰・泉が丘・陽東・石井・平石・清原／8地区)

事例発表者：景山真由美氏(地域包括支援センター石井・陽東)
参加者：151名

南部ブロック
(宮の原・陽南・緑が丘・陽光・五代若松原・雀宮・横川・瑞穂野／8地区)

事例発表者：上杉敬一氏(地域包括支援センターようなん)
参加者：212名

西部ブロック
(桜・富士見・宝木・明保・姿川・城山／6地区)

事例発表者：大武秋雄氏(地域包括支援センター砥上)
参加者：158名



講師：栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会長(飯田福祉会理事長) 浜野 修 氏

地区社協活動紹介コーナー

《お問い合わせ》地域福祉課

TEL 636-1215

FAX 610-6605

各地区社協が取り組んでいる地域福祉活動(事業)について、ご紹介します。



上河内地区 社会福祉協議会

上河内地区は、市の北部に位置し、平成19年の合併により旧上河内町から宇都宮市になりました。地区内は雄大な羽黒山や広大な田園地帯が広がり、夏には虫が飛び交う自然豊かな地域で、秋には羽黒山において「梵天祭」が開催され、市内外から多くの方が訪れます。景観形成活動や動植物の保護活動なども地域住民の方々により進められており、地域住民相互の支えあい助けあいが根付いている地区です。

～上河内地区敬老会を開催！～

9月8日に上河内中央小学校で敬老会を開催しました。

上河内地区では、金婚式を迎えた夫婦に金杯授与を行っており、夫婦共に長生きして金杯授与を受けることを、多くの方が楽しみにしていらっしやいます。

式典後にはアトラクションとしてマジックショーやものまねなどが披露され、にぎやかで楽しい時間を過ごしていただきました。



～関係機関の協働による「合同研修会」～

11月16日に、上河内地区民生委員児童委員協議会による合同研修会が開催され、地区社協の役員と福祉協力員が出席しました。このほか、保護司、行政相談員、市社協、地域包括支援センター、市福祉担当職員、小中学校長など、地域の福祉と教育の関係者が一堂に集まり、見守り活動や、児童福祉に関連する課題についての情報交換が行われました。

上河内地区では、人と人との顔が見える関係を築きながら、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、様々な福祉活動を展開しています。

平石地区 社会福祉協議会

平石地区は、市の中心部より東部に位置し、平出工業団地の東から鬼怒川の間であり、肥沃な土地と豊かな水資源を生かした稲作や野菜・果樹の生産が盛んな地区です。地区内には、市の天然記念物に指定されている広琳寺のしだれ桜や、柳田緑地の「クロコムラサキ」(蝶)の生息地、老木が林立する雷電神社など、貴重な自然財産が点在する地区です。



～地区文化祭で福祉体験コーナー・ビンゴ大会開催～

11月3日・4日に平石地区市民センターで文化祭が開催され、地区社協では11月4日にビンゴ大会と福祉体験コーナーを実施しました。ビンゴ大会には多くの方にご参加をいただき、福祉体験コーナーでは子どもたちを中心に、車いすとアイマスク体験を行い、バリアフリーについて学んでいただきました。

～クリスマスふれあいタイムを開催～

12月19日に、まちづくり協議会主催で「クリスマスふれあいタイム」が開催され、ひとり暮らし高齢者と地元の幼稚園児が招待されました。地区社協からは、福祉協力員が運営スタッフとして活動し、会場では大型紙芝居、マジックショー、バルーンアートが披露され、大いに盛り上がりました。

世代を超えた交流の輪が広がり、温かで楽しい交流会となりました。



平成
25
年度

宇都宮市社会福祉協議会

事業計画・予算



3月12日開催の理事会、3月28日開催の評議員会において、平成25年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

本会は共に支えあい、助けあいながら、安心して暮らし続けることができる”向こう三軒両隣り”の地域社会の実現を目指し、地域福祉推進の中核的組織として、地域の様々な福祉課題に向き合い、行政や関係機関・団体等と協力しながら、より一層の地域福祉の発展に尽力していきます。

●事業計画

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ①赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進
- ②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実
- ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

- ①ボランティア養成の充実
 - (ア) ボランティア体験プログラムの実施
 - (イ) ボランティア入門講座の開催（ぼらんていあ Saturday）
 - (ウ) 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）

- (エ) 災害ボランティア養成講座
- (オ) 傾聴ボランティア養成講座
- (カ) コミュニティフレンド養成講座
- (キ) M I Y A サンタクローズプロジェクト【新規事業】
- (ク) 福祉共育サポーター養成講座
- ②出前福祉共育講座の充実
 - (ア) 出前福祉講座連絡会の開催
 - (イ) 福祉共育、ボランティア推進フォーラムの開催
 - (ウ) 福祉共育副読本、DVD作成事業【新規事業】

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

- ①老人クラブ支援の充実【新規事業】
- ②老人福祉センターの機能の充実
- ③障がい福祉施設機能の充実
- ④地区福祉まつり支援の充実
- ⑤男性高齢者調理講習会事業の充実

(2) 情報提供体制の充実

- ①総合相談センター事業の充実
- ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

(3) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

- ①権利擁護センター（あすてらす）事業の充実【県社協委託事業】
- ②地域福祉権利擁護システム整備モデル事業の実施【県社協委託事業】
- ③成年後見制度研修会の実施

- ④介護保険事業の充実
 - (ア) 訪問介護事業の運営
 - (イ) 通所介護事業の運営
 - (ウ) 居宅介護支援事業の運営
- ⑤地域包括支援センター事業の充実
- ⑥障がい者生活支援センター事業の充実
- ⑦福祉車両貸出サービス事業の推進
- ⑧車いす等福祉機器・機材の貸出事業の推進
- ⑨移送サービス事業の推進
- ⑩在宅介護者のつどいの推進
- ⑪福祉理美容出張補助サービス事業の推進
- ⑫ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
- ⑬福祉機器・介護用品展示室の開設
- ⑭社会福祉資金貸付事業の推進
- ⑮生活福祉資金等貸付事業の実施【県社協委託事業】

3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

- ①コミュニティーワークの推進
- ②地区社会福祉協議会支援の充実
- ③ふれあい・いきいきサロン事業の推進
- ④安心・安全情報キット配付事業の推進
- ⑤ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実
- ⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進
- ⑦福祉団体・福祉施設の連携・協働の推進
- ⑧まちづくりセンター等市民活動機関の連携・協働の推進
- ⑨ボランティアセンター機能の充実
 - (ア) ボランティアの相談・登録・調整の推進
 - (イ) ボランティア団体への活動支援の推進

- (ウ) まちづくりセンターなどの中間支援組織との連携強化
- (エ) ボランティア研修会の開催
- ⑩災害ボランティアセンター機能の充実
 - (ア) 災害ボランティアセンター運営訓練の実施
 - (イ) 災害情報の収集・発信
 - (ウ) 災害ボランティアフォローアップ研修の開催
- ⑪ファミリーケアサービス事業の充実
- (2) 市民の主体的な地域活動への支援
 - ①小地域福祉活動計画策定の検討【新規事業】
 - ②福祉協力員制度の推進
 - ③社会福祉協議会会員制度の充実
 - ④ざんなん基金事業の充実
 - ⑤善意銀行事業の促進
 - ⑥敬老会事業の充実

4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

- ①老人福祉センター（5施設）
 - ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘
 - 上河内
- ②地域活動支援センター（3施設）
 - 雀の宮作業所・若草作業所・障がい者福祉センター
- ③総合福祉センター（2施設）
 - 宇都宮市総合福祉センター・河内総合福祉センター
- ④茂原健康交流センター

(2) 市からの受託事業の実施

- ①障がい者生活支援センター事業
- ②地域包括支援センター事業（2箇所）
 - 御本丸・上河内
- ③日中一時支援事業（3箇所）
 - あっとほーむすすめ・うだい・かわち
- ④身体障がい者福祉バス事業
- ⑤奉仕員養成講座（手話・音訳・点訳）
- ⑥要約筆記者派遣事業
- ⑦移動支援事業

●収支予算

(1)一般会計

| | |
|-----------------|-----------|
| ①法人運営 | 273,228千円 |
| ②福祉活動推進事業 | 40,364千円 |
| ③ボランティアセンター事業 | 12,801千円 |
| ④善意銀行事業 | 1,200千円 |
| ⑤総合相談センター事業 | 4,225千円 |
| ⑥権利擁護センター事業 | 9,015千円 |
| ⑦ぎんなん基金事業 | 46,849千円 |
| ⑧訪問介護事業 | 58,749千円 |
| ⑨通所介護事業 | 34,584千円 |
| ⑩障がい者居宅・生活介護事業 | 11,707千円 |
| ⑪共同募金配分金事業 | 40,310千円 |
| ⑫老人福祉センターの運営 | 206,811千円 |
| ⑬障がい者福祉センターの運営 | 35,936千円 |
| ⑭心身障がい者作業所の運営 | 43,479千円 |
| ⑮障がい者生活支援センター事業 | 16,669千円 |
| 計 | 835,927千円 |

(2)公益事業特別会計

| | |
|-------------------|-----------|
| ①宇都宮市総合福祉センターの運営 | 72,476千円 |
| ②河内総合福祉センターの運営 | 49,159千円 |
| ③茂原健康交流センターの運営 | 125,600千円 |
| ④地域包括支援センター御本丸の運営 | 34,765千円 |
| ⑤上河内地域包括支援センターの運営 | 30,065千円 |
| ⑥ファミリーケアサービス事業 | 10,262千円 |
| ⑦身体障がい者福祉バス事業 | 8,805千円 |
| ⑧居宅介護支援事業 | 21,862千円 |
| ⑨日中一時支援事業 | 22,531千円 |
| ⑩移送サービス事業 | 1,168千円 |
| 計 | 376,693千円 |

(3)その他の特別会計

| | |
|-------------|----------|
| ①生活福祉資金貸付事業 | 8,920千円 |
| ②社会福祉資金貸付事業 | 3,091千円 |
| 計 | 12,011千円 |

(1)一般会計

収入

835,927千円

(単位:千円)

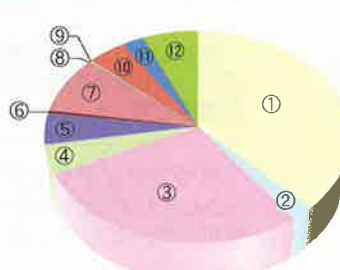


| | |
|-------------|---------|
| ①会費収入 | 36,450 |
| ②補助金収入 | 185,686 |
| ③寄附金収入 | 4,701 |
| ④受託金収入 | 305,433 |
| ⑤事業収入 | 10 |
| ⑥負担金収入 | 50 |
| ⑦利用料収入 | 846 |
| ⑧介護保険収入 | 64,816 |
| ⑨共同募金配分金収入 | 40,310 |
| ⑩受取利息配当金収入 | 2,401 |
| ⑪雑収入・事業外収入 | 171 |
| ⑫経理区分間繰入金収入 | 74,188 |
| ⑬会計単位間繰入金収入 | 10,486 |
| ⑭積立預金取崩収入 | 39,621 |
| ⑮その他の収入 | 943 |
| ⑯繰越金 | 69,815 |

支出

835,927千円

(単位:千円)



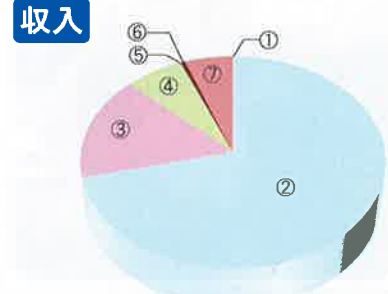
| | |
|-----------------|---------|
| ①人件費 | 315,628 |
| ②事務費支出 | 19,008 |
| ③事業費支出 | 232,201 |
| ④助成金支出 | 36,861 |
| ⑤共同募金配分金事業費支出 | 40,310 |
| ⑥負担金交付金支出 | 3,029 |
| ⑦経理区分間繰入金支出 | 74,188 |
| ⑧会計単位間繰入金支出 | 1,602 |
| ⑨固定資産取得支出及び繰入支出 | 1,365 |
| ⑩積立預金積立金支出 | 36,900 |
| ⑪その他の支出 | 21,051 |
| ⑫予備費 | 53,784 |

(2)公益事業特別会計

収入

376,693千円

(単位:千円)

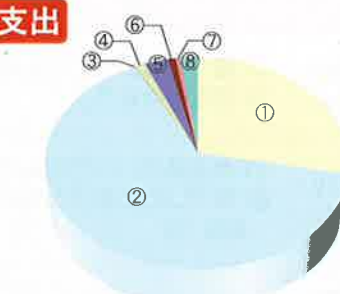


| | |
|-------------|---------|
| ①会費収入 | 85 |
| ②受託金収入 | 267,932 |
| ③利用料収入 | 60,131 |
| ④介護保険収入 | 25,254 |
| ⑤雑収入 | 602 |
| ⑥会計単位間繰入金収入 | 1,602 |
| ⑦繰越金 | 21,087 |

支出

376,693千円

(単位:千円)



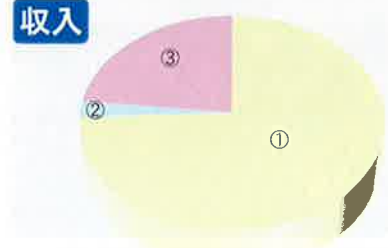
| | |
|-----------------|---------|
| ①人件費支出 | 105,840 |
| ②事業費支出 | 242,647 |
| ③負担金交付金支出 | 364 |
| ④返還金 | 4,395 |
| ⑤会計単位間繰入金支出 | 10,486 |
| ⑥固定資産取得支出及び繰入支出 | 3,186 |
| ⑦積立預金積立金支出 | 2,000 |
| ⑧予備費 | 7,775 |

(3)その他の特別会計

収入

12,011千円

(単位:千円)

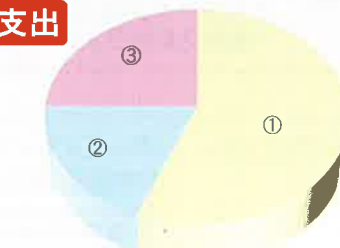


| | |
|---------|-------|
| ①受託金収入 | 8,920 |
| ②貸付事業収入 | 291 |
| ③繰越金 | 2,800 |

支出

12,011千円

(単位:千円)



| | |
|----------|-------|
| ①人件費支出 | 6,712 |
| ②事業費支出 | 2,299 |
| ③貸付事業等支出 | 3,000 |



ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します☆
平成 25 年度

ボランティア養成講座



ボランティアセンターが、平成25年度に開催する各種ボランティア養成講座をご案内します。
講座の詳細やお申込方法などは、随時「社協だより」「ボランティアセンターホームページ」
「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

●テーマで学んでみたい方

| 講座名 | 内容 | 開催予定 |
|---------------------|--|-------------|
| 1 災害ボランティア養成講座 | 東日本大震災という未曾有の災害が発生し、災害が、いつ私達の身に降りかかるか分からない状況の今、日頃からできる減災(災害被害を軽減すること)対策などについて学び、災害ボランティアとして活動していただく方を養成する講座です。 | 6月～7月 |
| 2 サマーボランティアスクール | 高校生、専門学校生、大学生を対象とした、ボランティア講座です。同じ世代の仲間とともに、楽しくボランティアを学んでみませんか？ | 7月～8月 |
| 3 傾聴ボランティア養成講座 | 傾聴とは、相手の話を否定せずに受容し、心を傾けて聴くことです。傾聴の基本や技術などを、講義やロールプレイを通して学ぶ講座です。 | 9月 |
| 4 MIYAサンタクロースプロジェクト | サンタクロースの基本について学び、講座修了後、クリスマスの時期に合わせて市内の高齢者・障がい者・児童施設等に訪問します。 | 11月 |
| 5 コミュニティフレンド養成講座 | 障がい者と余暇活動などをともにしながら、社会との関わりを広げていく「まちの中のともだち(コミュニティフレンド)」について学ぶ講座です。 | 平成26年 1月 |
| 6 福祉共育サポーター養成講座 | ボランティアセンターで実施している出前福祉共育講座を、サポートしていただけるボランティアを養成する講座です。講座修了後は、サポーターとしてご協力をいただきます。 | 平成26年 2月 |

●まずは、体験したい、知りたい方(ボランティア活動の体験プログラム)

| 講座名 | 内容 | 開催予定 |
|--------------------------------|---|-------------|
| 1 ぼらんていあSaturday ～聴覚障がいの理解～ | ①「聞こえないってどんなこと？」 ②「手話を学ぼう」 | 7月 |
| 2 ぼらんていあSaturday ～発達障がいの理解～ | ①「発達障がいってなんだろう？」 ②「障がいのある子どもと一緒に遊ぼう」 | 12月 |
| 3 ぼらんていあSaturday ～精神障がいの理解～ | 精神障がいってなんだろう？ | 平成26年 1月 |
| 4 エコキャップ運搬体験 ボランティア | 社協にお寄せいただいたペットボトルキャップ(エコキャップ)を車へ積み込むボランティア体験です。 | 毎月 第3土曜日 |



▲サマーボランティアスクール(ワークショップの様子)



▲災害ボランティア養成講座(三角巾使い方)

《お問い合わせ》ボランティアセンター
TEL 636-1285
FAX 634-2870

ホームページもご覧ください
「宇都宮市社協ボラセン」で検索

宇都宮市社協ボラセン

福祉教育
シリーズ

共育

第7回

ボランティアセンターでは、子どもから大人まで互いに学びあい、教えあい、共に成長していく力を育む「福祉共育」を推進しています。

聴覚障がいの理解 Part.3

『聴覚障がい者への気配りと街で見かけるマーク』



■このマークが貼ってある車を見かけたら

最近、このマークを貼ってある車を見かけたけど、何だろう？

このマークは「聴覚障がい者標識」と言って、重度の聴覚障がい者の方も、この標識とワイドミラーを付けることで車の運転をすることができます。



ボラ千太郎



職員

このマークを見かけた車の運転手は、クラクション等で危ないことが伝わらないことを理解し、必要な時はゆっくり走る配慮・気配りで、安全運転をお願いします。

■聞こえないのかな？と思ったら

聴覚障がい者の方は、音声での呼びかけだけではわからず、困る場合があります。例えば、受付窓口などで名前が呼ばれたときに、聞こえず反応できないと、その場に居ないと判断されたり、後回しにされる場合もあります。

もし、気が付いたら身振り等で教えてあげてください。



■「耳マーク」を見かけたら



ボラ千太郎



職員

窓口でこのマークを見かけたけど、何のマークだろう？

このマークは「耳マーク」と言って、聴覚障がいの方が、自分の耳が不自由であることを表すときや、自治体・病院・企業等が必要な支援を行うことを示すのに使います。

このマークを見かけたら、ゆっくり話したり、筆談をするなどの配慮をしましょう。

次回は、「肢体不自由児者の理解について Part1」を掲載予定です。

福祉共育サポーター養成講座を開催しました

宇都宮大学との共催により、2月15日から3月8日までの毎週金曜日（全4回）、ボランティアセンターと一緒に「出前福祉共育講座」を推進していただくサポーターを養成するための「福祉共育サポーター養成講座」を開催しました。

「出前福祉共育講座」とは、学校・地域・企業などの団体を対象に、福祉について理解していただくことを目的に、障がいのある方々や地域のボランティアの方々の協力により実施している出前講座です。

今回開催した「福祉共育サポーター養成講座」には、21名の方々が参加され、学校で実施する「出前福祉共育講座」の模擬授業などを体験していただきました。



▲平成24年度受講生が模擬授業でアイマスクを体験

福祉共育サポーターとして活動したい

福祉共育サポーター養成講座を受講・修了

福祉共育サポーターとしてボラセンに登録

調整

事前打合せ

活動



▲平成23年度の修了生たちが講座スタッフとして活躍しています

～社協会費は、皆さまの地域の福祉活動を支えています～

平成25年度宇都宮市社会福祉協議会

社協会員にご加入をお願いいたします

宇都宮市社会福祉協議会では、地域福祉を推進する構成員として住民、団体、法人の皆さまに会員になっていただき、会費のご協力をいただいています。社協会費は地域福祉活動の充実のために欠かすことのできない財源です。本年度も、事業計画に基づき、より充実した活動を展開して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

会員の種類と会費

- ・普通会員(各世帯) 300円以上
- ・特別会員(個人) 1,000円以上
- ・団体会員(社会福祉機関・団体・施設) 5,000円以上
- ・賛助会員(企業・事業所・個人) 10,000円以上



ありがとう
ございました

平成24年度は皆さまに **37,289,661円**のご協力をいただきました。

会費を財源として実施する事業

地区社協が行う福祉活動のために

- ・福祉協力員による見守り活動
- ・ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業
- ・敬老会事業 …その他、地区社協独自の事業などに

ボランティア活動の推進のために

- ・ボランティアの登録やコーディネート
- ・ボランティア情報の提供
- ・ボランティア養成講座や体験講座の開催

市社協が地域の福祉活動を支援するために

- ・地区社協活動への支援
- ・広報・啓発活動

相談事業推進のために

- ・総合相談センターの開設

在宅福祉サービス事業のために

- ・ファミリーケアサービス事業等

ぎんなん基金

～ご協力ありがとうございました～

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。



平成25年1月1日～3月31日

寄附順・敬称略

| 寄附者(団体) | 金額(円) |
|--|---------|
| ことぶき会館お客様一同 | 11,101 |
| 銚匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部 | 10,000 |
| かましん ミュゼ豊郷台店 お客様一同 | 9,458 |
| レストラン風見鶏 お客様一同 | 17,187 |
| 宇都宮友の会 | 30,000 |
| 日本信号㈱宇都宮事業所 | 400,000 |
| ビッグサンユースト生店 お客様一同 | 9,975 |
| 第6回宇都宮市民福祉の祭典 実行委員会 委員長 松本 カネ子 なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵 | 138,081 |
| 20,000 | |
| かましん 清原テクノ店 お客様一同 | 14,377 |
| 小杉オートサービス有志一同 | 15,000 |
| 築島 時三郎 | 2,000 |
| 三信電工㈱ | 7,800 |
| ステップ希望 (のぞみ) 会長 石川 孝子 | 14,500 |
| 銚匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部 | 10,000 |
| カトリック松が峰教会 | 10,000 |
| 青山 康郎 | 33,250 |
| ウイングダンス | 5,790 |
| 築島 時三郎 | 2,000 |
| 三信電工㈱ | 7,860 |
| だいまるスター お客様一同 | 7,232 |
| なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵 | 20,000 |

| 寄附者(団体) | 金額(円) |
|----------------------------------|---------|
| 陸上自衛隊北宇都宮駐屯地隊員 一同 | 82,864 |
| 2 佐々木康子 | 4,829 |
| 中央地区子ども茶道教室 | 26,740 |
| 河内総合福祉センター お客様一同 | 6,945 |
| サンユースト本店 お客様一同 | 10,799 |
| 要約筆記サークル③うつのみや | 3,000 |
| サンユースト岩曾店 お客様一同 | 9,722 |
| 高橋孝尚歌謡教室 | 5,000 |
| なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵 | 20,000 |
| ユニー㈱ アピタ宇都宮店 | 36,826 |
| 第23回長寿88芸能発表会 | 15,685 |
| 3 中部地区吟剣詩舞道 代表者 野中琴風 河内会 鈴木有雲 | 10,922 |
| すこやか荘 お客様一同 | 5,743 |
| 宇都宮和光ライオンズクラブ | 100,000 |
| ステップ希望 (のぞみ) 会長 石川孝子 | 17,110 |
| 成年後見制度勉強会 参加者一同 | 4,244 |
| やすらぎ荘 お客様一同 | 3,865 |
| 三信電工㈱ | 9,350 |
| 宇都宮市立雀宮南小学校 (厚生事業部) | 5,680 |
| 築島 時三郎 | 2,000 |
| 福本 正吾 | 1,000 |

平成24年度の寄附総額

累計 **4,831,345円**

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

福祉Q&A

ご存知ですか?

最近、
街でよく
見かける



このマークは何ですか??

これは身体内部に障がいのある人を表わす「ハート・プラス」マークです。

このマークには身体内部を表わす「ハート」に思いやりの心を「プラス」する願いがこめられています。

身体内部に障がいがある方は外見からわかりにくいいため、様々な誤解をうけることがあります。

内部障がいの方の中には、電車やバスの優先席に座りたい、近辺での携帯電話使用を控えて欲しいといったことを希望していることがあります。

このマークを着用している方を見かけた場合には、ご理解、ご協力をお願いいたします。